

九州厚生局沖縄事務所長へ届出している手術

(令和6年1月～令和6年12月)

手術名

手術件数

【区分1に分類される手術】

・頭蓋内腫瘍摘出術等	(年間症例 17例)
・黄斑下手術等	(年間症例 0例)
・鼓室形成手術等	(年間症例 0例)
・肺悪性腫瘍手術等	(年間症例 34例)
・経皮的カテーテル心筋焼灼術	(年間症例 214例)

【区分2に分類される手術】

・靱帯断裂形成手術等	(年間症例 4例)
・水頭術手術等	(年間症例 56例)
・鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	(年間症例 0例)
・尿道形成手術等	(年間症例 18例)
・角膜移植術	(年間症例 0例)
・肝切除術等	(年間症例 5例)
・子宮附属器悪性腫瘍手術等	(年間症例 1例)

【区分3に分類される手術】

・上顎骨形成術等	(年間症例 0例)
・上顎骨悪性腫瘍手術等	(年間症例 2例)
・バゼドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	(年間症例 0例)
・母指化手術等	(年間症例 0例)
・内反足手術等	(年間症例 0例)
・食道切除再建術等	(年間症例 1例)
・同種死体腎移植術等	(年間症例 0例)

【区分4に分類される手術】

・腹腔鏡下及び胸腔鏡下手術	(年間症例 519例)
---------------	-------------

【その他の区分に分類される手術】

・人工関節置換術	(年間症例 40例)
・乳児外科施設基準対象手術	(年間症例 0例)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(年間症例 57例)
・冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む。) 及び対外循環を要する手術	(年間症例 20例)
・経皮的冠動脈形成術	(年間症例 124例)
急性心筋梗塞に対するもの	(年間症例 5例)
不安定狭心症に対するもの	(年間症例 16例)
その他のもの	(年間症例 82例)
特殊カテーテルによるもの	(年間症例 20例)
経皮的冠動脈血栓吸引術	(年間症例 1例)
・経皮的冠動脈粥腫切除術	(年間症例 0例)
・経皮的冠動脈ステント留置術	(年間症例 264例)
急性心筋梗塞に対するもの	(年間症例 20例)
不安定狭心症に対するもの	(年間症例 45例)
その他のもの	(年間症例 199例)

- (1) 速やかに開胸手術や開腹手術に移行できる体制を整えている。
- (2) 関連学会から示されているガイドライン等を踏まえ、手術適応等の治療方針についての検討を適切に実施している。
- (3) 胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術について十分な経験を有する医師が配置されている。

令和7年1月1日
病院長 大城 吉則